

令和3年度官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)
標準活用加速化支援事業実施方針(案)

令和3年10月7日
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」(最終改訂令和3年4月15日ガバニングボード決定)に基づき、令和3年度のPRISM対象施策、配分額を次のとおり定める。

システム改革型

標準活用加速化支援事業実配分額:640百万円

テーマ	対象施策	概要	府省庁名	配分額 (百万円)
ドローン	ドローンに関する国際標準化の推進	世界の標準化動向を踏まえ、災害等の日本の課題にも対応した、技術開発成果(機体安全性、運行管理等)の強みを活かした国際標準化を加速。	経済産業省	40.0
			国土交通省	60.0
コールドチェーン	BtoB 分野におけるコールドチェーン物流サービスの国際標準化推進事業	日本の物流事業者には有利な海外市場環境形成のため、BtoB 分野でのコールドチェーン物流サービスに係る日本規格の国際標準化を早期に図る。	国土交通省	20.2
スマート農業	スマート農業等の海外展開に向けた標準の戦略的活用	データ連携に基づく営農サービスの提供で欧米に遅れを取らぬよう、スマート農機を活用したデータ連携システムに係る国際標準化を加速。	農林水産省	185.8
新たな食ソリューション	美味しさと健康を両立させる「新たな食ソリューション」の海外展開に向けた標準の戦略的活用	国産農産物・食品の健康・機能性や「美味しさ」の国際標準化を通じて、科学的根拠を基に世界に発信し、高付加価値化して海外市場を拡大。	農林水産省	200.0
データブリッジング	リアルワールドヘルスデータのブリッジング標準化	健康長寿と関連する腸内細菌をまず対象に、データブリッジングシステムと知財・標準化戦略の検討を加速。バイオ医薬等産業の国際競争優位を早期に獲得。	厚生労働省	134.0

(注1)テーマ「ドローン」の配分額は、令和3年度当初予算を充てる。これ以外は、令和2年度補正予算を充てる。

(注2)一部 10 万円未満の配分額がある(テーマ「スマート農業」185,795 千円、テーマ「データブリッジング」134,005 千円)